

【プロジェクト名】 ICT 利活用による学校支援

1 プロジェクトの目的・概要

佐賀県が全県規模で進める ICT 利活用教育の 8 年目を迎え、県立学校のすべての学年で学習用パソコンを利活用した活動が各教科の授業や学校行事等の中で展開されている。これまでの成果を踏まえ、さらに各学校の現状から成果や改善点を把握し、事業を推進する。

佐賀大学は、一昨年度に設置されたクリエイティブ・ラーニングセンターと連携して本年度は ICT 機器（電子黒板、タブレット PC 等）を利活用した協働学習支援やアクティブラーニングなどによる新たな学習デザインとその評価等について教育工学等の知見を基に教育実践研究を進める。

県教育委員会は、ICT 利活用教育における人材育成等について検討する。

大学と県教育委員会は、教材や指導法の開発と実証研究を佐賀県内の学校、附属学校園と共同で行う。その成果を現職教員、教員志望者の研修支援に活用し、県内の ICT 利活用教育の推進を図る。

2 29 年度の実施実績**(佐賀大学)**

- (1) ICT 機器を用いた学習デザインの研究（協働学習支援システムのモデル化）
 - ① ICT 機器使用環境の充実 Windows タブレット PC20 台、タブレット端末 iPad20 台にそれぞれ追加し 60 台と 40 台を設置した。新型の電子黒板、iPad の連携支援ソフト「TabletSync」を導入した。
 - ② 専用充電機能付カートを追加導入（教室移動時の安全、防犯性、プロフィール変更の利便性向上）した。
 - ③ 教材開発 iBooks Author を使用して iPad で配信する電子教科書を作成した。
 - ④ 授業開発 ①の機器の充実を背景として思考の共有、提示方法のあり方を検討した。
- (2) 教員免許更新講習、中堅研修において ICT 活用および情報モラル等をテーマとした。
- (3) 「ICT 利活用指導力向上プログラム」（教員志望学生を対象に e ラーニングコンテンツの利用）を実施した。
- (4) 県内の小中学校における情報モラル教育の実践授業に参加した。

(県教育委員会)

- (1) 佐賀大学教員免許更新講習への講師派遣「教育の最新事情」
- (2) OJT を中心とするスキルアップ研修による指導力の向上
- (3) 管理職研修（国内外の ICT 利活用に関する教育事情、著作権等）（5/15）
- (4) 学習用パソコン操作体験会（5 会場 5 回実施）（11/25, 11/26, 12/2, 12/3, 12/9）
- (5) 高校生 ICT 利活用プレゼンテーション大会（12/16）
- (6) 教職員による ICT 利活用教育指導事例発表（12/16）
- (7) 佐賀県 ICT 利活用フェスタ（12/15, 12/16）

3 30 年度の実施計画

(佐賀大学) 学校現場や教員の活動への直接的協働的支援・連携、産学官保の連携推進、教材・指導法開発
 平成 29 年度実績の継続、各種研修会支援、産学官連携による教材開発・機器整備充実・授業開発、特別支援教育への支援、教員志望学生育成およびメディア教育推進カリキュラムの設計
 ICT 機器を用いた学習デザインの研究（協働学習支援システムのモデル化）

- ① ICT 機器使用環境の充実 佐賀大学に ICT 研修施設が設置されたことで、昨年度までの機器に Windows タブレット PC40 台が追加され、また新型の電子黒板等が導入された。
- ② 授業開発 ①の機器の充実を背景として思考の共有、提示方法の教育研究を進める。

(県教育委員会) ICT 利活用教育の充実 (佐賀大学との連携協力の改善・深化) →本県教育の質の向上
平成 29 年度実績 (1)～(7) の継続・改善による充実